

## 多文化共生事業について

## 1 国際化推進アクションプラン ※資料①

## 【背景】

- ・平成30～令和7年度までの間、「国際化の指針」の具体的な取り組みについて示すもの
- ・前期（4年）と後期（4年）に分けて進捗管理を行う
- ・前期を経過したため、関係部署・市内国際交流団体などからの報告に基づき、後期の遂行に繋げることを目的として、進捗確認・効果検証を実施

## 【現状・今後】

- ・令和4年8月末で外国籍市民は531名
- ・アクションプラン開始時と比べ約1.6倍に増加
- ・一方、約半数が「技能実習」や「特定技能」の在留資格のため、外国人数は流動的
- ・外国人に恵庭市を選択してもらえるよう「恵庭宣言」にあるとおり「相互理解とコミュニティ」、「長い目で見た継続的な実践」を念頭に「誰もが快適に暮らせるまちづくり」を進める。

## 2 多文化共生のまちづくり事業

## 【多文化共生のまちづくり連絡協議会】

- ・令和4年度第1回⇒日時：9月16日、内容：情報交換・大学教授の講演
- ・令和4年度第2回⇒日時：3月24日、内容：情報交換・やさしい日本語講座

## 【日本語ひろば「えにわ」】 ※資料②

- ・令和4年度は16回の開催（2月7日時点）※今後3回予定
- ・参加者数⇒外国人のべ82人（1回平均5人）、日本人サポーターのべ152人（1回平均9.5人）
- ・小グループで日本人サポーターとの会話の中から日本語を習得
- ・教室以外にも季節のイベントや料理体験なども行い文化交流を行う



### 3 グアテマラ共和国との交流

- 東京2020オリンピックにおいて、グアテマラ共和国競歩選手団のホストタウンとして事前合宿を受け入れた
- 在グアテマラ日本国大使館の協力により、スポーツ少年団から物資（シューズ・ウェアなど）を募り、現地に送付する事後交流を企画
- 物資の送付後は、オンラインで現地のオリンピック選手と市内の児童生徒との交流を行う
- 送付物資：靴 27、シャツ 66、ジャージ 38（うち上下セット 19）、ウインドブレーカー 16（うち上下セット 5）、ハーフパンツ 18
- 協力団体：恵庭市体育協会、ハイテク AC アカデミー、市内少年団など

### 4 まちづくりチャレンジ協働事業

#### 【やさしい日本語教室ENIWA】

- やさしい日本語教室ENIWA実行委員会が主催
- 市内の企業で働く外国人技能実習生などに向け、日本語の普及を行う
- J L P T日本語能力検定試験講座のための授業を実施



#### 【日本語スピーチ発表会】

- 恵庭に暮らす外国人と地域をつなぐ会が主催
- スピーチ発表会や日本文化体験を通して、在住外国人と地域の日本人の交流を目的
- 日本語スピーチ発表会  
日時：1月22日、参加者：外国人7名、来場者約50名
- 日本文化体験（振袖の試着、茶道、けん玉など）  
日時：2月5日、参加者：来場者約50名

